

県内企業の景況意識調査

(第175回)

- * 2020年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み
- * 2021年 1～3月期〈Ⅰ期〉の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、 幅広い業種で改善

今期（2020年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期（2020年7～9月期〈Ⅲ期〉）比33.8ポイント上昇の▲6.0となった。業種別のBSIは、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の6業種全てで改善した。

11月までは新型コロナウイルス感染症の影響がある程度落ち着いていたことに加え、Go Toトラベルなどの政策効果がみられたことから、業況判断BSIは大幅に改善した。ただし、今期の改善は感染症による悪化が一巡したことによる一過性のものであると考えられる。

来期（2021年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期比6.6ポイント低下の▲12.6とやや悪化する見通しとなっている。業種別のBSIは、『卸・小売業』で改善し、『建設業』『製造業』『運輸業』『サービス業』の4業種で悪化する見通しである。また、『金融・不動産業』は今期と同水準となる見通しである。

*2020年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

- 製 造 業……………2期連続で改善
- 卸・小売業……………卸売業・小売業ともに改善
- 建 設 業……………2期連続で改善
- サービス業……………2期連続で改善

新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、 幅広い業種で改善

◎業況判断

【今期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲6.0（前期比+33.8ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 23.4%（前期比+10.3ポイント）
- ・悪くなった 29.4%（前期比▲23.5ポイント）
- ・変わらない 47.2%（前期比+13.2ポイント）

＜業種別＞

- ・前期比改善：6業種全て（『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』）

11月までは新型コロナウイルス感染症の影響がある程度落ち着いていたことに加え、Go Toトラベルなどの政策効果がみられたことから、業況判断BSIは大幅に改善した。

ただし、今期の改善は感染症による悪化が一巡したことによる一過性のものであると考えられる。足元で感染が再拡大していることもあり、来期の業況判断BSIはやや悪化する見通しとなっている。

【来期】(2021年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲12.6（今期比▲6.6ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 13.6%（今期比▲9.8ポイント）
- ・悪くなる 26.2%（今期比▲3.2ポイント）
- ・変わらない 60.3%（今期比+13.1ポイント）

＜業種別＞

- ・今期比改善：1業種（『卸・小売業』）
- ・今期比悪化：4業種（『建設業』『製造業』『運輸業』『サービス業』）
- ・今期比不変：1業種（『金融・不動産業』）

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲9.3（前期比+25.3ポイント）

5業種で改善

収益BSI：▲9.8（前期比+23.4ポイント）

5業種で改善

【来期】

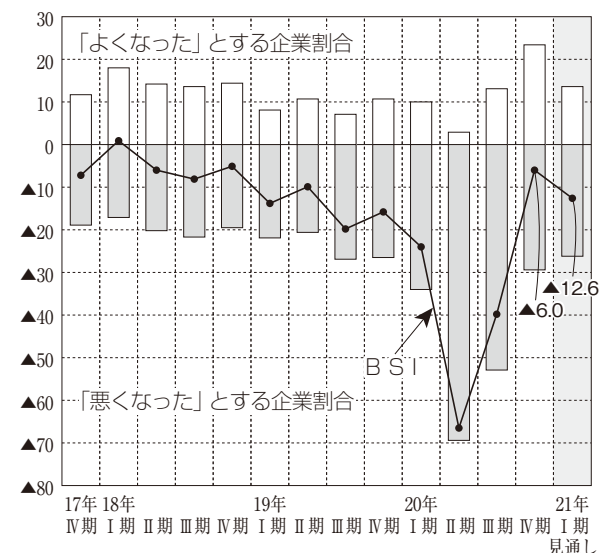
売上高BSI：▲19.6（今期比▲10.3ポイント）

5業種で悪化見通し

収益BSI：▲22.1（今期比▲12.3ポイント）

4業種で悪化見通し

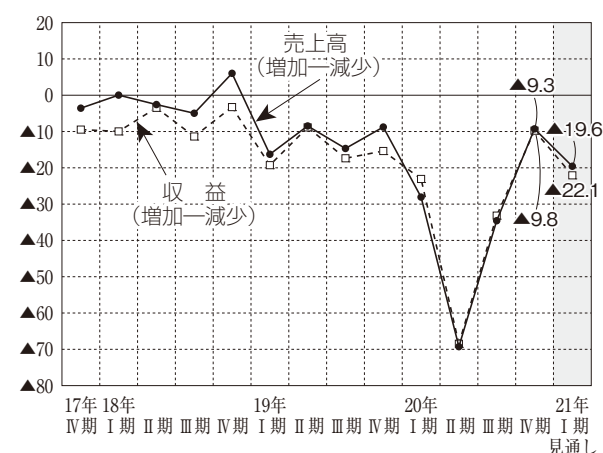
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2020年 Ⅱ期	2020年 Ⅲ期	2020年 Ⅳ期	2021年 Ⅰ期見通し
建設業	▲42.8	▲31.9	▲11.1	▲33.3
製造業	▲67.2	▲34.3	▲7.2	▲8.6
卸・小売業	▲67.8	▲46.0	▲31.1	▲20.7
金融・不動産業	▲100.0	▲42.8	14.3	14.3
運輸業	▲46.6	▲64.3	12.5	0.0
サービス業	▲83.3	▲37.5	25.7	▲5.7
全産業	▲66.5	▲39.8	▲6.0	▲12.6

売上高と収益（BSI）



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲12.7 (前期比+13.4ポイント)
4業種で上昇
雇用者数の現状 B S I : ▲16.1 (前期比▲5.6ポイント)
4業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲9.4 (今期比+3.3ポイント)

◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(44.3%)
- 2位:「人手不足」(12.9%)
- 3位:「人材不足」(11.9%)
- 4位:「競争激化」(9.5%)
- 5位:「単価低下」(6.2%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は『製造業』と『金融・不動産業』がそれぞれ57.1%と最も高い。「人手不足」は『建設業』で40.7%と最も高くなっている。

「売上不振」の割合は前期比17.8ポイント低下と7期ぶりに低下した。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 34.9% (前期比+6.3ポイント)
5業種で上昇

<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(59.5%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(17.6%)
- 3位:「合理化・省力化」(6.8%)
- 3位:「新製品生産」(6.8%)

【来期】

実施予定企業の割合: 33.0% (今期比▲1.9ポイント)
2業種で低下見通し

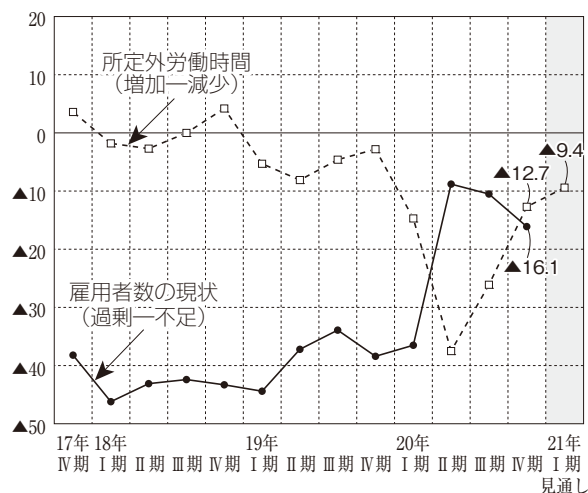
<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(58.6%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(14.3%)
- 3位:「合理化・省力化」(11.4%)

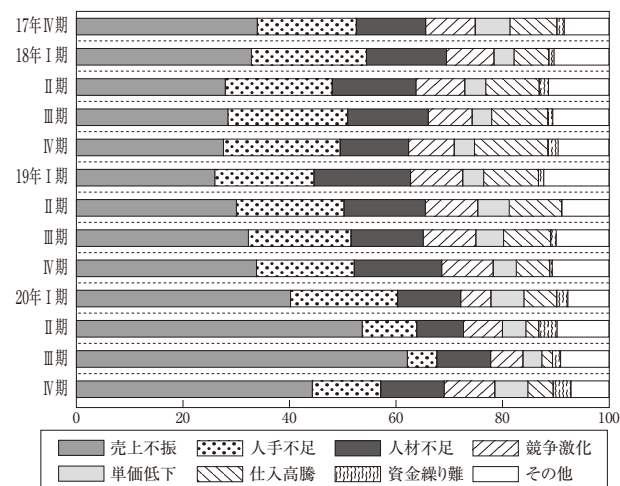
◎「今年の冬季ボーナス支給予定額」について

今回の調査において、「今年の冬季ボーナスの支給予定額」について尋ねたところ、「前年の冬季と同額」が36.8%、「前年の冬季より減額する」が26.8%、「ボーナス支給の予定はない」が15.8%、「わからない」が15.3%、「前年の冬季より増額する」が5.3%となった。

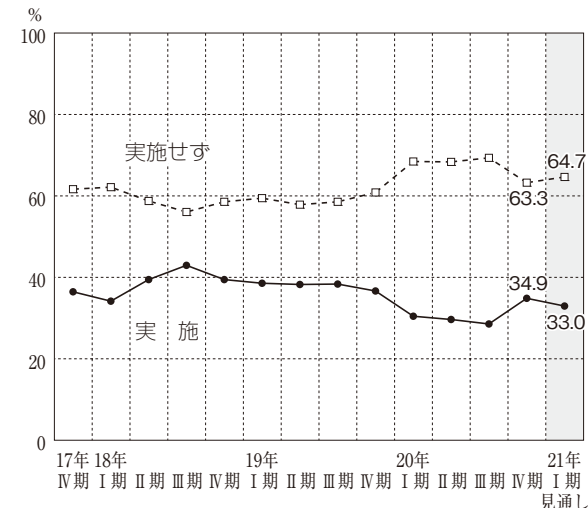
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期連続で改善

◎業況判断

【今期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断 B S I : ▲ 7.2 (前期比 + 27.1 点)

＜内訳＞

- ・よくなった 25.7% (前期比 + 7.9 点)
- ・悪くなった 32.9% (前期比 ▲ 19.2 点)
- ・変わらない 41.4% (前期比 + 11.3 点)

＜業種別＞

- ・前期比改善: 7 業種 (「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「機械」「食料品」「木材・家具」「窯業・土石」「その他」)
- ・前期比悪化: 1 業種 (「印刷・出版」)
- ・前期比不変: なし

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う落ち込みからの回復を背景に多くの業種で前期比改善した。特に自動車関連の回復が目立つ。他産業の回復にも波及しており、緊急事態宣言発出に伴う落ち込みからの反動増とみられる。

【来期】(2021年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断 B S I : ▲ 8.6 (今期比 ▲ 1.4 点)

＜内訳＞

- ・よくなる 15.7% (今期比 ▲ 10.0 点)
- ・悪くなる 24.3% (今期比 ▲ 8.6 点)
- ・変わらない 60.0% (今期比 + 18.6 点)

＜業種別＞

- ・今期比改善: 5 業種 (「鉄・非鉄・金属」「機械」「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)
- ・今期比悪化: 3 業種 (「化学・石油」「食料品」「木材・家具」)
- ・今期比不変: なし

来期は全体の景況感は今期とほぼ同水準の予想となっている。新型コロナウイルス感染症の先行き不透明さから、業況の上向きが見込みづらい状況であることが背景にあるとみられる。

◎売上高と収益

【今期】

売上高 B S I : ▲ 16.9 (前期比 + 20.1 点)

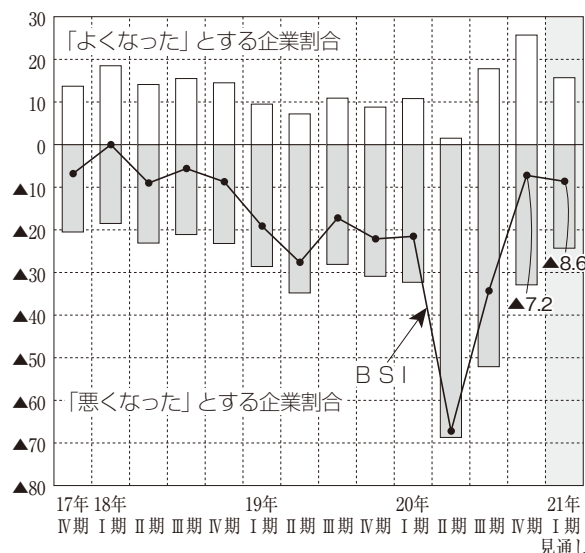
収益 B S I : ▲ 25.7 (前期比 + 11.3 点)

【来期】

売上高 B S I : ▲ 22.5 (今期比 ▲ 5.6 点)

収益 B S I : ▲ 22.9 (今期比 + 2.8 点)

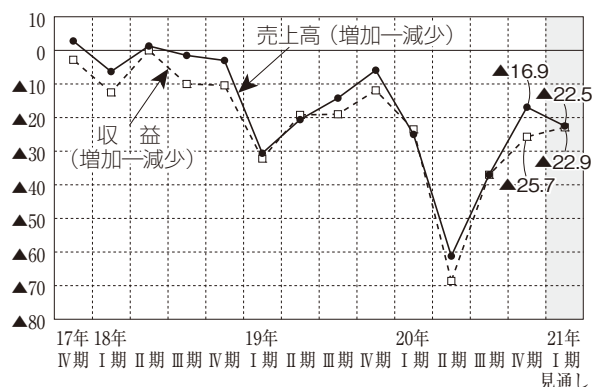
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2020年Ⅱ期	2020年Ⅲ期	2020年Ⅳ期	2021年Ⅰ期見通し
化学・石油	▲ 20.0	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7
鉄・非鉄・金属	▲ 66.7	10.0	30.0	40.0
機 械	▲ 68.4	▲ 45.0	▲ 19.1	▲ 19.0
食 料 品	▲ 63.6	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 30.0
木材・家具	▲ 100.0	▲ 71.4	0.0	▲ 50.0
印刷・出版	▲ 100.0	▲ 42.8	▲ 50.0	▲ 16.7
窯業・土石	0.0	0.0	25.0	50.0
そ の 他	▲ 71.4	▲ 28.6	▲ 14.3	0.0
製 造 業	▲ 67.2	▲ 39.8	▲ 7.2	▲ 8.6

売上高と収益 (B S I)



卸・小売業

(58社)

卸売業・小売業ともに改善

◎業況判断

【今期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲48.2 (前期比+15.4㊦)

<内訳>

- ・よくなった 11.1% (前期比+2.0㊦)
- ・悪くなった 59.3% (前期比▲13.4㊦)
- ・変わらない 29.6% (前期比+11.4㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲16.1 (前期比+16.1㊦)

<内訳>

- ・よくなった 19.4% (前期比▲2.0㊦)
- ・悪くなった 35.5% (前期比▲18.1㊦)
- ・変わらない 45.2% (前期比+20.2㊦)

Go To トラベルの地域共通クーポンや自治体のプレミアム付き商品券で消費喚起されたことにより、卸売業、小売業ともに業況判断BSIが改善した。

【来期】(2021年1～3月期〈Ⅰ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲25.9 (今期比+22.3㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲16.1 (今期比±0.0㊦)

新型コロナウイルスの影響による需要減少に底打ち感がみられ、卸売業では改善、小売業では今期と同水準の見通しとなっている。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲55.6 (前期比▲5.6㊦)

収益BSI : ▲59.3 (前期比▲13.9㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲33.3 (今期比+22.3㊦)

収益BSI : ▲42.3 (今期比+17.0㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲19.3 (前期比+9.3㊦)

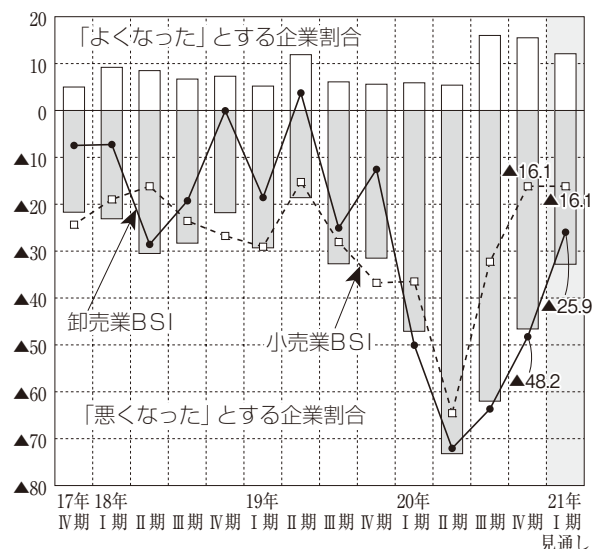
収益BSI : ▲3.2 (前期比+25.4㊦)

【来期】

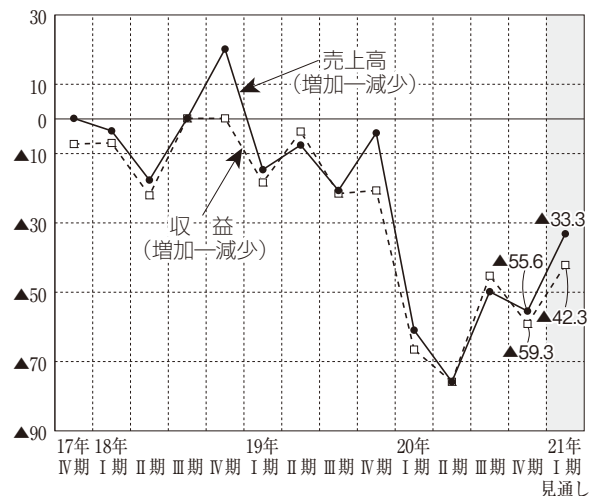
売上高BSI : ▲16.1 (今期比+3.2㊦)

収益BSI : ▲19.4 (今期比▲16.2㊦)

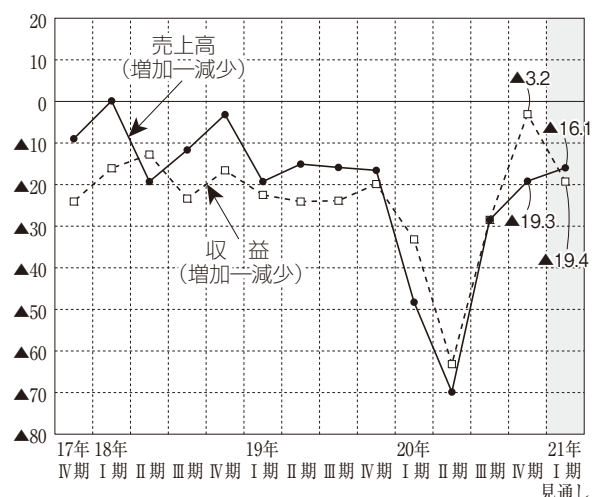
業況判断 (BSI)



【卸売業】 売上高と収益 (BSI)



【小売業】 売上高と収益 (BSI)



2期連続で改善

◎業況判断

【今期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲11.1（前期比+20.8ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 3.7%（前期比▲0.8ポイント）
- ・悪くなった 14.8%（前期比▲21.6ポイント）
- ・変わらない 81.5%（前期比+22.4ポイント）

今期の業況判断BSIは引き続きマイナス水準であるものの、前期から大幅な改善となった。新型コロナウイルスの影響をほとんど受けていないとの声も聞かれるなど、工事受注が堅調に推移していることが要因とみられる。

【来期】(2021年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲33.3（今期比▲22.2ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 0.0%（今期比▲3.7ポイント）
- ・悪くなる 33.3%（今期比+18.5ポイント）
- ・変わらない 66.7%（今期比▲14.8ポイント）

来期の業況は今期と「変わらない」とする企業が多いものの、一部では工事受注の減少が見込まれており、業況判断BSIは悪化する見通しとなっている。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲18.5（前期比▲4.9ポイント）

収益BSI：▲3.7（前期比▲3.7ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲22.2（今期比▲3.7ポイント）

収益BSI：▲29.6（今期比▲25.9ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲22.2（前期比▲8.0ポイント）

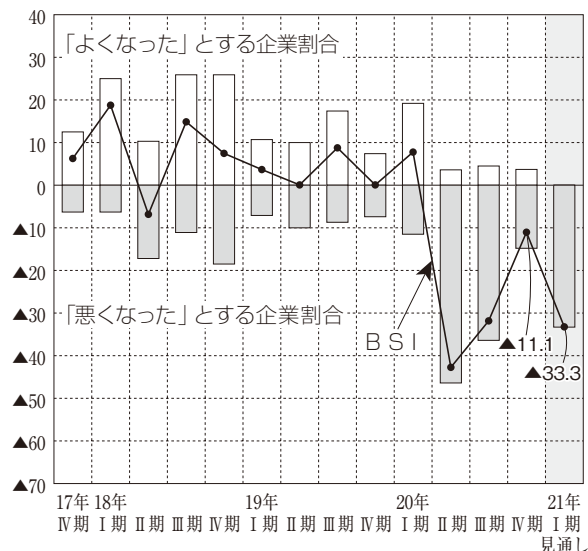
雇用者数の現状BSI：▲44.4（前期比+3.2ポイント）

所定外労働時間が「減少した」と回答する企業が増え、所定外労働時間BSIは前期から低下した。

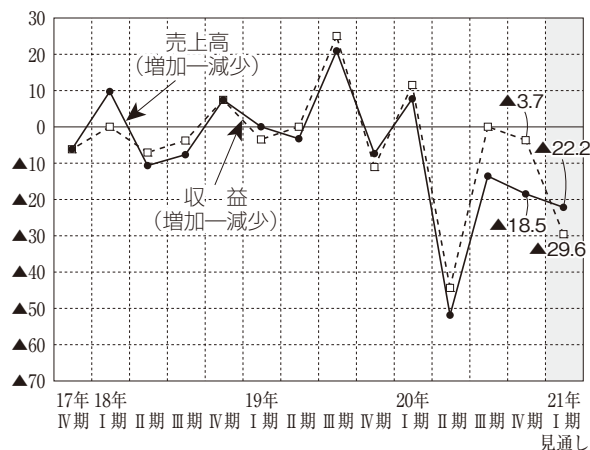
【来期】

所定外労働時間BSI：±0.0（今期比+22.2ポイント）

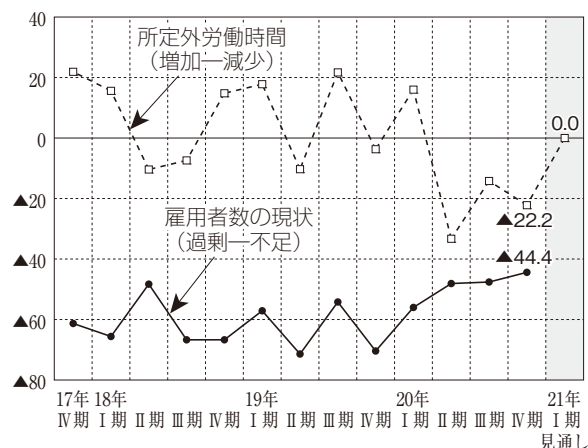
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



2 期連続で改善

◎業況判断

【今期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断 B S I : 25.7 (前期比+63.2ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 48.6% (前期比+38.6ポイント)
- ・悪くなった 22.9% (前期比▲24.6ポイント)
- ・変わらない 28.6% (前期比▲13.9ポイント)

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業は前期比64.7ポイント増の70.6%、「悪くなった」と回答した企業は同29.4ポイント減の23.5%だった。観光関連以外(18社)では、「よくなった」と回答した企業が27.8%、「悪くなった」と回答した企業が22.2%だった。10月からGo To トラベルの東京都除外解除、地域共通クーポン配布がスタートしたことにより観光客が増加しており、ホテル・旅館、レジャー施設を中心に大幅な改善がみられた。

【来期】(2021年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断 B S I : ▲5.7 (今期比▲31.4ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 22.9% (今期比▲25.7ポイント)
- ・悪くなる 28.6% (今期比+5.7ポイント)
- ・変わらない 48.6% (今期比+20.0ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高 B S I : 40.0 (前期比+72.5ポイント)

収益 B S I : 42.8 (前期比+75.3ポイント)

【来期】

売上高 B S I : ▲8.8 (今期比▲48.8ポイント)

収益 B S I : ▲5.9 (今期比▲48.7ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

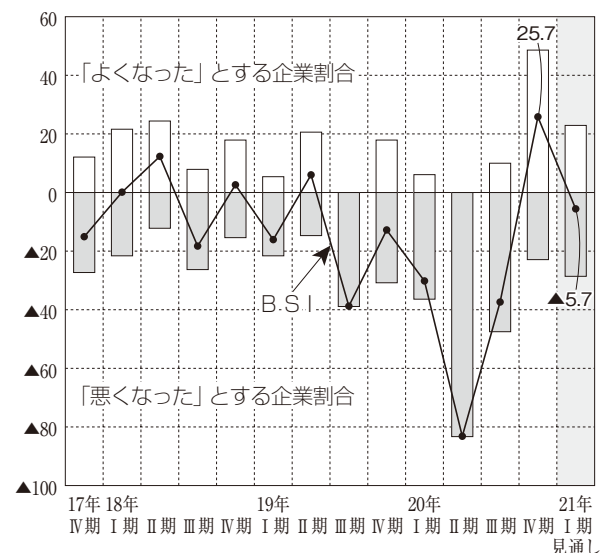
所定外労働時間 B S I : 5.7 (前期比+35.7ポイント)

雇用者数の現状 B S I : ▲28.6 (前期比▲18.6ポイント)

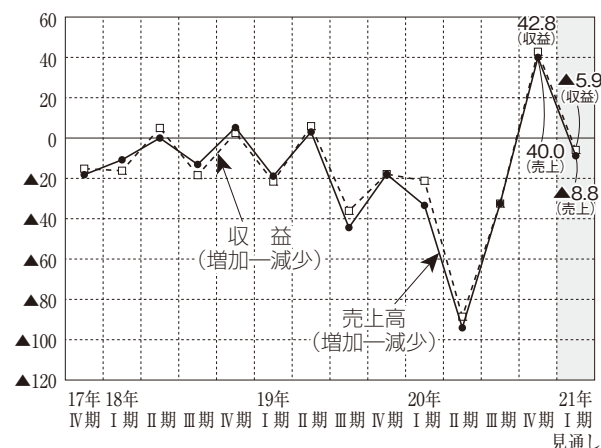
【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲5.7 (今期比▲11.4ポイント)

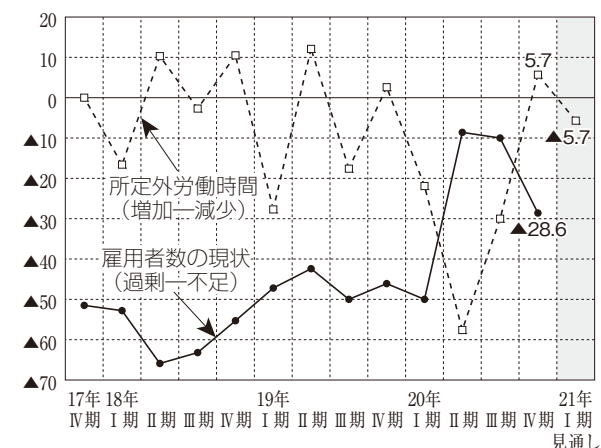
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = \frac{〔よくなる〕}{〔よくなる〕 + 〔悪くなる〕} \times 100$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2020年11月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 215社

- ・回答率 49.7%
- ・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	7.0%
資本金1千万円～1億円未満	63.7%
資本金1億円以上	17.2%
無回答	12.1%

おおいたの経済と経営 NO.364 1月号付録 2020年12月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階
TEL (097) 533-8111 編集発行人 衛藤 健 印刷所 佐伯印刷株式会社